

更生支援企画課だより

法務省近畿エリアの再犯防止・更生支援情報が満載の広報誌

法務省近畿矯正管区
☎ 06-6941-5781
☎ 06-6910-2428

✉ 1.oosakakyouseik.kfb@i.moj.go.jp

Vol.29
R7.12

テーマ「効果的な
広報のあり方」

再犯防止×地方創生政策 ワークショップ型研修

研修の目的

講師として招へいした矯正施設所在自治体等の職員と矯正施設職員が、再犯防止にも地方創生にも資する取組として、矯正施設の人的・物的な活用等と共に検討し、刑務所出所者等の地域生活定着に向けた支援体制の充実化を図る。

令和7年
8月27日(水)
実施

矯正における広報

更生支援企画課から「矯正における広報」、「『伝わる』デザイン基礎」について説明を行いました。



基調講演



(一社)地方PR機構
殿村代表理事

一般社団法人地方PR機構 殿村代表理事に「再犯防止施策における効果的な広報手法～行動経済学『フレーミング効果』『ナッジ理論』を活用～」と題して御講演いただきました。

講演の中では、「更生支援企画課」を「再出発サポート課」に改名してはどうかとの御提案もいただきました。

◆ フレーミング効果
同じ情報でも提示の仕方に
よって、人の判断や意思決定
が変わる現象

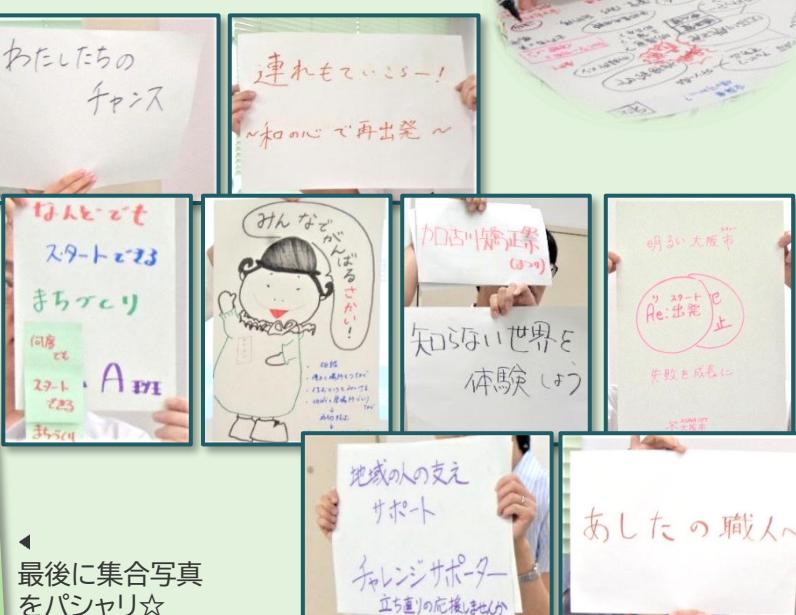
◆ ナッジ理論
強制的ではなく、人々の行動
をそっと促すことで、より望ま
しい選択を促す仕組みのこと

ワークショップ

矯正施設職員と自治体講師でグループを構成し、それぞれが持参した広報物のキャッチコピーを再度考えるというテーマで討議しました。

成果発表

いずれのチームも基調講演の内容を踏まえた素晴らしいキャッチコピーばかりで、今後の各機関の広報物の印象がガラッと変わっていくことが期待される結果となりました。



最後に集合写真
をパシャリ☆



居住支援協議会等との意見交換会

★居住支援とは…

住まいに関する課題を抱えている方に対する、住まいに関する相談や入居前・入居中・退去時の支援のことです。矯正においては、居住支援を通じた、刑務所出所者等の再犯防止と社会復帰を目指しています。

★居住支援協議会等との意見交換会とは…

居住支援法人や、地方公共団体の住宅担当部局職員等を矯正施設に招へいし、被収容者の特性や矯正処遇・社会復帰支援の実情等についての関心と理解を深め、地域における刑務所出所者等の帰住先確保の促進を図ることを目的に開催しています。

【@奈良少年院】

令和7年9月10日(水)に奈良少年院において、奈良県内を拠点とする居住支援法人の皆様や奈良保護観察所様、奈良県・奈良市の住宅部局と福祉部局の皆様を招へいし、居住支援協議会等との意見交換会を開催しました。参加者には、奈良県内唯一の処遇施設である奈良少年院を見学いただきました。意見交換の際、居住支援法人の方々からは、居住支援を行うに当たっての苦労や工夫や、関係機関との連携の重要性が語られ、行政側からは、行政としてできることは何かを考えさせられたとのお話をいただきました。



ひまわりのウエルカムボード
制作:奈良少年院木工科



【@京都刑務所】

令和7年11月25日(火)に京都刑務所において、京都府内を拠点とする20の居住支援法人の皆様や行政機関の皆様(京都保護観察所、京都市・宇治市の居住支援協議会事務局、京都府・京都市の福祉部局等)、オブザーバーとして、近畿地方整備局様や滋賀県住宅部局様を招へいし、京都府住宅部局様と共に、意見交換会兼居住支援法人連絡会を行いました。講演をいただいた居住支援法人様からは、刑務所出所者への居住支援の事例を踏まえた今後の課題を共有いただき、参加した各法人の皆様からは、支援の得意分野を紹介いただきました。互いに補い合って居住支援を行うきっかけ作りができたのではないでしょうか。



▲
隊列を組んで
京都刑務所
内を見学





第36回関西矯正展

開催日 11月8日・9日 場所 大阪刑務所

「矯正展」では、刑務作業の重要性や現状などについて、国民のみなさまに広く知っていただくため、それぞれの刑務所等で行われている刑務作業についての広報を行うほか、実際に受刑者が刑務作業で製作した「刑務所作業製品」(CAPIC)を展示・販売しています。

このたび、更生支援企画課として、「関西矯正展」にブース出展しました。

再犯防止・農福連携・居住支援のポスター・アニメーション動画、『犯罪をした後の流れと再犯防止』・『犯罪・非行に陥る背景～「生きづらさ」という問題～』をテーマにしたポスターを掲示し、それらを基にしたクイズのリーフレットを配布しました。

熱心にクイズに取り組んでくださる方多くいて、たいへん盛況でした。ありがとうございました。



農福連携を通じた立ち直り支援

農福連携を推進する上で、矯正の取組が分かることのが欲しいとの要望を受け、「農福連携を通じた罪を犯した人の立ち直り支援」というチラシを作成しています。昨年度は滋賀県で、今年度は兵庫県や奈良県で、農福連携に取り組んでいる農業者等に向けて配布をしていただいています。



★矯正における農福連携とは…

刑務所や少年院での就農指導や就労体験等を通じて就農意欲を喚起するほか、刑務所等による農福連携関係団体からの食材等の調達を推進し、再犯防止と農業分野における新たな働き手確保の双方を目指しています。

農福連携を通じた 罪を犯した人の 立ち直り支援

農福連携等推進ビジョン(2024改訂版)では…
「犯罪をした者等」のうち農業での就労が適当であると認められる者と農業分野での協力雇用主等とのマッチングの推進などが明記されました。



刑務所等の出所者は、様々な「生きづらさ」を感じています。

「生きづらさ」ってどんなこと？

- 経済的に生活が困難
- コミュニケーションの苦手さ
- 障がいがある
- メンタルヘルスの問題を抱える
- 高齢から生じる様々な問題

立ち直りには、人との交流を目的とした「つながり」の場が重要です。



農業体験活動等を通じて



- △ 健康増進や生きがいづくり
- △ 職業訓練・立ち直りの場の提供
- △ 地域で交流し、生き生きと活動

→ 再び罪を犯さない
生き方へ





令和7年度
近畿ブロック

再犯防止 シンポジウム

～ 民間協力者による
社会課題解決としての再犯防止の取組～

令和8年

2/5 木

13:00~16:30

つながるちから

地域のちから



▲イベント詳細

Symposium on recidivism prevention



- ・基調講演「つながる地域が人を変える
－共に生きる地域共生社会と再犯防止の実践－」
【講師】彦根保護区保護司会 会長 平田 敦之さん
- ・パネルディスカッション
- ・特別企画展示（刑務所作業製品・取組紹介ポスター等）

地域のちからで、再犯を防ぐ社会へ

高齢化や人口減少により地域のつながりが希薄になる中、犯罪をした人たちの社会復帰には、民間協力者の存在が欠かせません。地域課題と再犯防止の取組が重要な今、協力の輪を広げることで、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指します。

再犯防止について、私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

参加無料・要事前申込

- 開催形式：会場・オンライン
 ・会場 ▶ 立命館大学朱雀キャンパス
 ・オンライン ▶ Zoom

参加方法

右記の二次元コードからアクセスし、
必要事項をご入力ください。

- ・申込締切：令和8年1月20日（火）
- ・会場定員：400名（定員になり次第締切）



会場 立命館大学朱雀キャンパス（京都市中京区西ノ京朱雀町1）



- JR・京都市営地下鉄京都駅から
 • JRにて約10分、「二条駅」下車、
 徒歩約2分
- 京都市営地下鉄烏丸線にて約5分、「烏丸御池駅」で京都市営地下鉄東西線に乗り換え、「二条駅」下車、
 徒歩2分
- 阪急大阪梅田駅から
 • 阪急にて約40分、「大宮駅」下車、
 徒歩約10分

Googleマップ▶



【主催】大阪高等検察庁、大阪法務局、近畿地方更生保護委員会、近畿矯正管区
 【後援】彦根保護区保護司会、立命館大学人間科学研究所、一般社団法人よりそいネットおおさか、社会福祉法人交野市社会福祉協議会、兵庫県弁護士会、社会福祉法人青葉仁会
 【お問い合わせ】近畿ブロック再犯防止シンポジウム事務局（近畿矯正管区更生支援企画課内）
 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別路7階 メール：i.kinkikyouseika.4uk@i.moj.go.jp 電話：06-6941-5781

◀ 「更生支援企画課だより」バックナンバー

